

施設等の構造、設備等に関し整備の目標となる指針（新旧対照表）

現行		改正後	
1 建築物		1 建築物	
整備項目	目標となる指針	整備項目	目標となる指針
1	略	1	略
2 廊下その他これに類するもの（以下「廊下等」という。）	不特定かつ多数の者が利用する廊下等は、次に定める構造とすること。 1～6 略 7 廊下等に設けられる傾斜路及びその踊り場は、次に定める構造とすること。 (1) 略 (2) <u>こう配</u> は、12 分の 1 を超えないこと。 (3)～ (9) 略	2 廊下その他これに類するもの（以下「廊下等」という。）	不特定かつ多数の者が利用する廊下等は、次に定める構造とすること。 1～6 略 7 廊下等に設けられる傾斜路及びその踊り場は、次に定める構造とすること。 (1) 略 (2) <u>勾配</u> は、12 分の 1 を超えないこと。 (3)～ (9) 略
4 エレベーター	1 略 2 1 に規定するエレベーターのうち 1 以上のものは、次に定める構造とし、かつ、当該エレベーターを主たる廊下等に近接した位置に設けること。 (1) 籠の床面積は、2.09 平方メートル以上とすること。 (2) 籠の_____奥行きは、内のりを 1.35 メートル以上とすること。 (3)～ (14) 略 (15) 籠内及び乗降ロビーに設ける制御装置（(14)に規定する制御装置を除く。）は、視覚障害者が円滑に操作することができる構造とすること。 (16)～(17) 略 3 1 に規定するエレベーターのうち 2 に定める構造のエレベーター以外のものは、規則別表第 2 イの表 4 の項の(1) <u>から(3)まで、(8)及び(11)</u> に規定する構造とすること。	4 エレベーター	1 略 2 1 に規定するエレベーターのうち 1 以上のものは、次に定める構造とし、かつ、当該エレベーターを主たる廊下等に近接した位置に設けること。 <u>【削る】</u> (1) 籠の <u>幅は、内のを 1.6 メートルとし、</u> 奥行きは、内のりを 1.35 メートル以上とすること。 (2)～ (13) 略 (14) 籠内及び乗降ロビーに設ける制御装置（(13)に規定する制御装置を除く。）は、視覚障害者が円滑に操作することができる構造とすること。 (15)～(16) 略 3 1 に規定するエレベーターのうち 2 に定める構造のエレベーター以外のものは、規則別表第 2 イの表 4 の項の(1)、 <u>(2)、(7)及び(10)</u> に規定する構造とすること。
5 エスカレーター	1 不特定かつ多数の者が利用するエスカレーターのうち 1 以上のものは、次に定める構造方法又は高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令（平成十八年政令第三百七十九号）第十八条第二項第六号の規定に基づき国土交通大臣が定める構造のエスカレーターで車椅子使用者が円滑に利用することができるものとする。ただし、4 の項 2 に定める構造のエレベーターを設置する場合においては、この限りでない。 (1) 幅は、内のを 1 メートル <u>程度</u> とすること。 (2)～ (4) 略 2 略	5 エスカレーター	1 不特定かつ多数の者が利用するエスカレーターのうち 1 以上のものは、次に定める構造方法又は高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令（平成十八年政令第三百七十九号）第十八条第二項第六号の規定に基づき国土交通大臣が定める構造のエスカレーターで車椅子使用者が円滑に利用することができるものとする。ただし、4 の項 2 に定める構造のエレベーターを設置する場合においては、この限りでない。 (1) 幅は、内のを 1 メートル <u>以上</u> とすること。 (2)～ (4) 略 2 略
6 便所	1 不特定かつ多数の者が利用する便所（客室の内部に設けられるものを除く。）を設ける階(専ら駐車場の用に供される階にあっては、当該駐車場に車椅子使用者用駐車施設が設けられている階に限る。)には、次に定める基準に適合する便所を設けること。 (1)～ (9) 略 (10) 車椅子使用者対応便房には、使用者の有無を示す <u>設</u> を設けること。 (11) 略 2～5 略	6 便所	1 不特定かつ多数の者が利用する便所（客室の内部に設けられるものを除く。）を設ける階(専ら駐車場の用に供される階にあっては、当該駐車場に車椅子使用者用駐車施設が設けられている階に限る。)には、次に定める基準に適合する便所を設けること。 (1)～ (9) 略 (10) 車椅子使用者対応便房には、使用者の有無を示す <u>設備</u> を設けること。 (11) 略 2～5 略
7 駐車場	1 不特定かつ多数の者が利用する駐車場には、次に定める基準に適合する車椅子使用者用駐車施設を、当該駐車場の全駐車台数が 200 以下の場合にあっては、当該駐車台数に 50 分の 1 を乗じて得た数以上、当該駐車場の全駐車台数が 200 を超える場合にあっては、当該駐車台数に 100 分の 1 を乗じて得た数に 2 を加えた数以上設けること。	7 駐車場	1 不特定かつ多数の者が利用する駐車場には、次に定める基準に適合する車椅子使用者用駐車施設を、当該駐車場の全駐車台数が 200 以下の場合にあっては、当該駐車台数に 50 分の 1 を乗じて得た数以上、当該駐車場の全駐車台数が 200 を超える場合にあっては、当該駐車台数に 100 分の 1 を乗じて得た数に 2 を加えた数以上設けること。

	(1) 略 (2) 幅は、3.5メートル以上と_____すること。 (3) 乗降のための部分の幅は、1.4メートル以上とし、当該部分の床面を 塗装 _____すること。 (4)～(6) 略 2 略
8 敷地内の通路	不特定かつ多数の者が利用する敷地内の通路は、次に定める構造とすること。 (1) 表面は_____、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。 (2)～(6) 略 (7) 敷地内の通路に設けられる傾斜路及びその踊場は、_____2の項7の(1)及び(3)から(8)までに定める構造並びに こう配 が15分の1を超えない構造とすること。
9～15	略
16 案内板、案内標示その他これらに類するもの（以下「案内標示等」という。）	1～3 略 【新設】
17	略

2 建築物以外の公共交通機関の施設

整備項目	整備基準
1～2	略
3 エレベーター	規則別表第 1 ロの表1の項に定める構造の改札口と乗降場との高低差が5メートル以上である部分には、次に定める構造のエレベーターを設けるよう努めること。 (1) 籠の 床面積は、2.09平方メートル 以上とすること。ただし、籠の出入口が複数あるエレベーターであって、次に定める構造のものについては、この限りでない。 ア 略 イ 籠の 幅が、内のり を0.95メートル以上とするもの。 ウ 籠の奥行きが、内のりを1.35メートル以上とするもの。 【新設】 ② 略 ③ 1の表 四の項2(2)及び(4)から(17) までに定める構造のものとすること。
4～7	略

	(1) 略 (2) 幅は、3.5メートル以上とし、 奥行きは、6メートル以上 とすること。 (3) 乗降のための部分の幅は、1.4メートル以上とし、当該部分の床面 又は地面を斜線で塗装表示 _____すること。 (4)～(6) 略 2 略
8 敷地内の通路	不特定かつ多数の者が利用する敷地内の通路は、次に定める構造とすること。 (1) 表面は、 平たんで 、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。 (2)～(6) 略 (7) 敷地内の通路に設けられる傾斜路及びその踊場は、 (1)並びに2の項7の(1)、(3)から(5)まで、(7)及び(8) に定める構造並びに 勾配 が15分の1を超えない構造とすること。
9～15	略
16 案内板、案内標示その他これらに類するもの（以下「案内標示等」という。）	1～3 略 4 不特定かつ多数の者が利用する公益的施設の出入口等に面する歩道には、視覚障害者誘導用ブロックを敷設すること。
17	略

2 建築物以外の公共交通機関の施設

整備項目	整備基準
1～2	略
3 エレベーター	規則別表第 2 ロの表1の項に定める構造の改札口と乗降場との高低差が5メートル以上である部分には、次に定める構造のエレベーターを設けるよう努めること。 (1) 籠の 内のり幅は1.6メートル _____以上とすること。ただし、籠の出入口が複数あるエレベーターであって、次に定める構造のものについては、この限りでない。 ア 略 イ 籠の 内のり幅 _____を0.95メートル以上とするもの。 【削る】 ② 籠の 内のり奥行きは、1.35メートル 以上とすること。 ③ 略 ④ 1の表 4の項2(3)から(16) _____までに定める構造のものとすること。
4～7	略